

御堂筋の維持管理及び事業の状況

御堂筋の歴史

大正10年 御堂筋を含む大阪市内24路線を都市計画決定

大正13年 受益者負担金制度を導入し工事費を確保

大正15年 御堂筋の工事着手

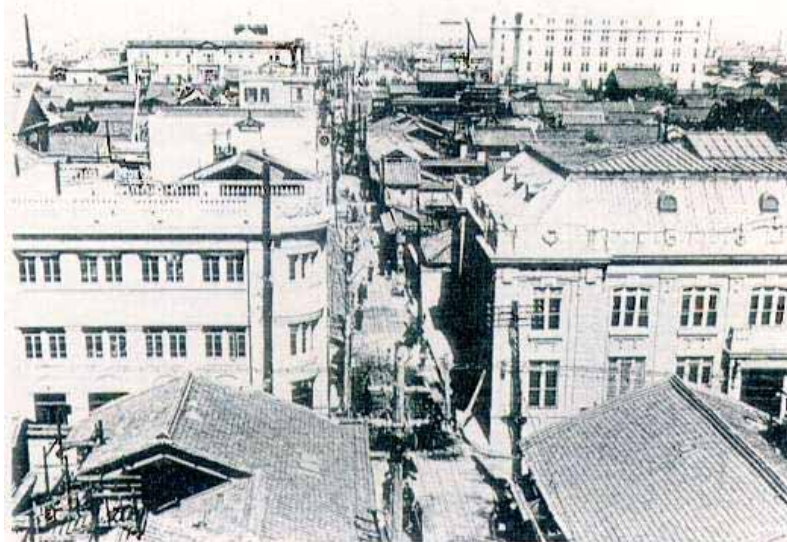
昭和12年 工事完了(御堂筋開通)

昭和33年 国道(指定区間編入)一般国道25号

昭和45年 一方通行化(大阪万国博覧会開催)

平成12年 銀杏並木が大阪市指定文化財となる

平成20年 淀屋橋・大江橋が重要文化財に指定



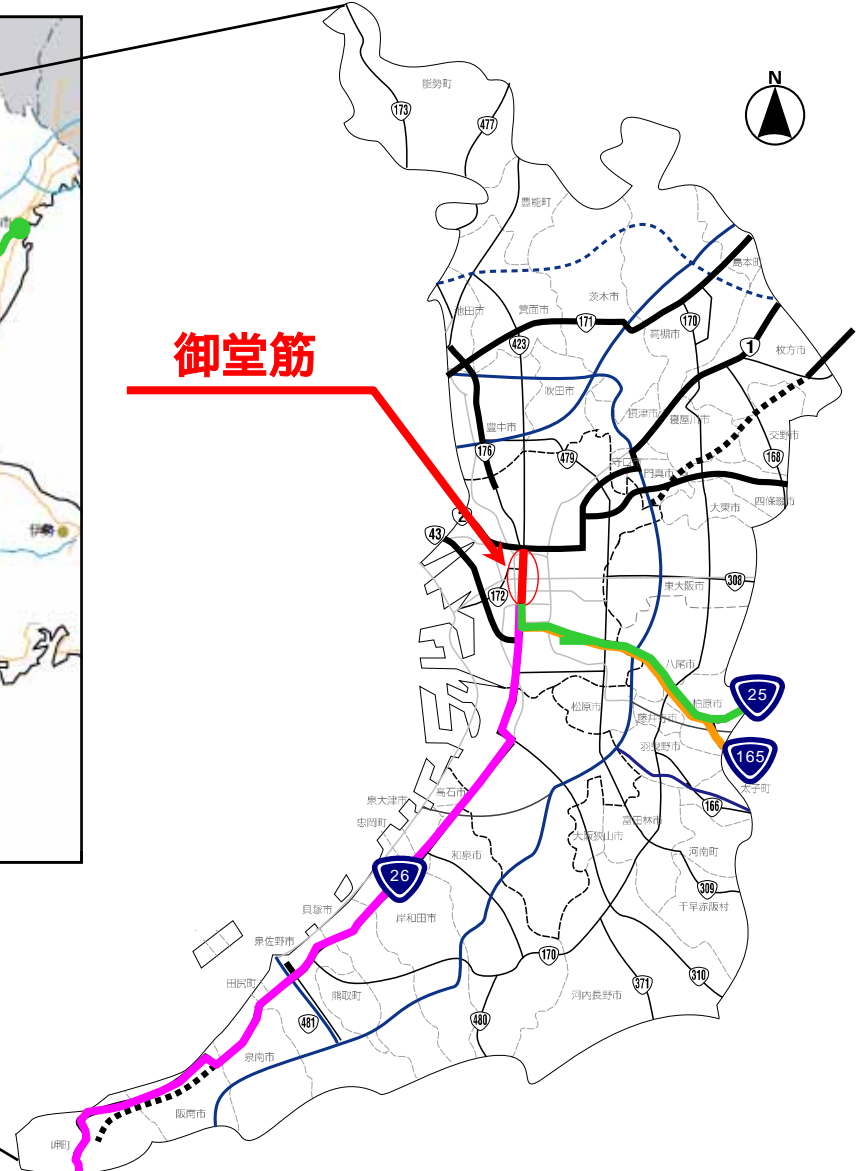
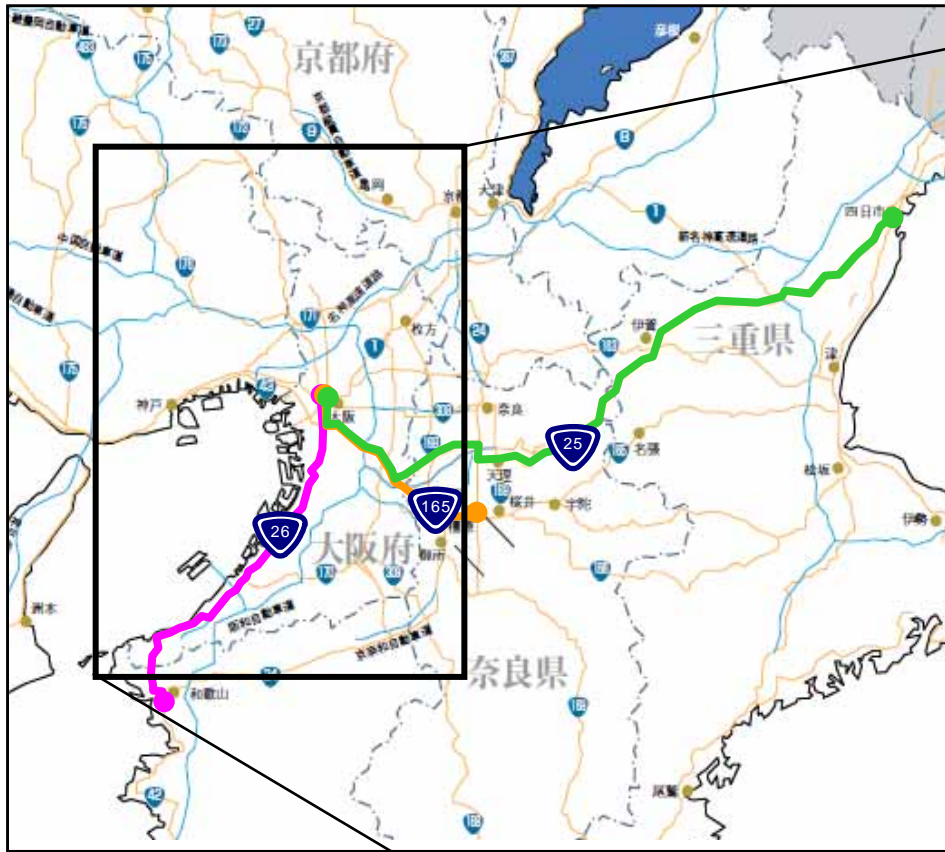
【拡幅前(大正末期)】 当時の幅員は約6m



【拡幅直後(昭和12年頃)】

広域ネットワークを形成する国道25号

国道25号は、三重県四日市市から大阪市に至る幹線道路であり、広域ネットワークを形成。
御堂筋は、国道25号の終点部に位置し大阪市内を通過。
また、御堂筋は、国道26号、165号の一部区間でもある。(3路線が重複)

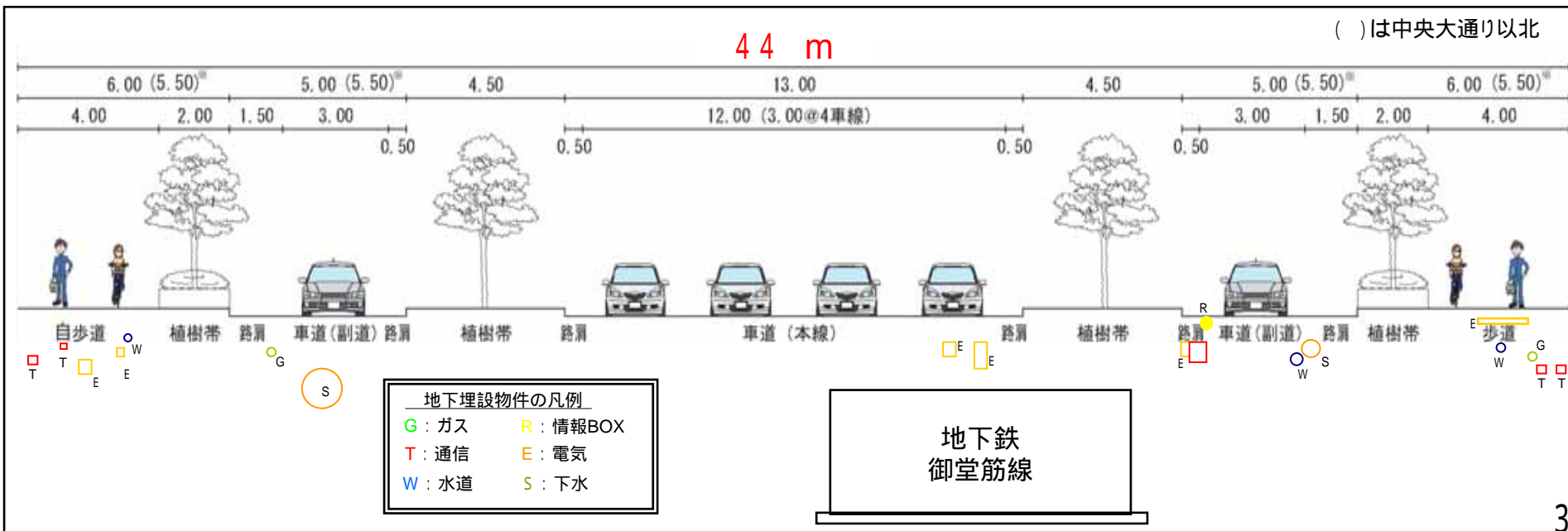


御堂筋の現況

【平面図】



【横断図】



【交通量】自動車: 約56,000台/日 歩行者: 約22,000人/12h 自転車: 約6,000台/12h (H17センサス 本町付近)

大阪のシンボルロード

美しい景観

銀杏並木(大阪市の指定文化財)



にぎわい空間

御堂筋オープンフェスタ(5月)



彫刻(沿道企業等からの寄付による28体の彫刻)



御堂筋kappo(10月)



維持管理

利用者の安全安心のために

【パトロールによる点検】



定期的な巡回を行い、安全確保のための点検を実施。

【道路付属物の維持管理】



【腐食箇所拡大図】

御堂筋の歩道照明灯の約6割が老朽化しており、今後更新が必要。

【路面清掃作業】



安全な走行環境を確保するため定期的に路面清掃を実施。

【管渠清掃作業】



側溝・管渠等のゴミや土砂を定期的に清掃。

道路を快適に利用していただくために

【落葉清掃作業】



銀杏の落葉時期に(11月下旬～12月下旬)落葉清掃を実施。

【ボランティア・サポート・プログラム】



御堂筋では、沿線地域5団体の方々が清掃等の活動をされており、その活動を支援。

【自転車撤去作業】



通行の支障となる放置自転車の撤去を実施。

【バナー広告の道路占用】



公的な取り組みに要する費用への充当を目的とする広告物の道路占用。